



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月14日

上場会社名 福井コンピュータホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 9790

URL <https://www.fukuicompu.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役CEO

（氏名） 佐藤 浩一

問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO/CHRO

（氏名） 橋本 彰

（TEL）0776-53-9200

半期報告書提出予定日 2025年11月14日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 （機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	8,246	13.0	3,738	18.8	3,830	19.9	1,741	△18.7
2025年3月期中間期	7,296	4.4	3,147	8.9	3,195	8.7	2,143	8.6

（注）包括利益 2026年3月期中間期 2,104百万円（1.6%） 2025年3月期中間期 2,072百万円（2.4%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	84.25	—
2025年3月期中間期	103.67	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	34,118	27,759	81.4
2025年3月期	33,044	27,102	82.0

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 27,759百万円 2025年3月期 27,102百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期（予想）			—	73.00	73.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	15,580	5.9	6,600	8.5	6,658	7.2	4,310	208.46

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	20,700,000株	2025年3月期	20,700,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	24,813株	2025年3月期	24,813株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	20,675,187株	2025年3月期中間期	20,675,210株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結損益計算書関係)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当社グループ(当社及び連結子会社)における当中間連結会計期間の経営成績につきましては、売上高8,246百万円(前年同期比13.0%増)、営業利益3,738百万円(前年同期比18.8%増)、経常利益3,830百万円(前年同期比19.9%増)、親会社株主に帰属する中間純利益1,741百万円(前年同期比18.7%減)となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

(建築システム事業)

建築システム事業の売上高は3,901百万円(前年同期比14.9%増)、営業利益は1,528百万円(前年同期比18.6%増)となりました。当中間連結会計期間は、住宅事業及び建材事業では、法改正により設計業務の負担が増す中、業務効率化を支援する新機能への期待や、今後の制度改正への対応力を評価する声が高まり、新規顧客の獲得や既存顧客によるライセンス増設が進展しました。BIM事業では、2026年4月から開始予定のBIM確認申請制度への関心の高まりを背景に、BIM関連製品の新規導入も増加しました。

また、価格改定による単価改善効果が継続したことで、ストック型サービスも安定的に推移し、前年同期比で増収増益となりました。

(測量土木システム事業)

測量土木システム事業の売上高は4,020百万円(前年同期比4.8%増)、営業利益は1,937百万円(前年同期比3.1%減)となりました。当中間連結会計期間は、測量・土木事業の3次元化の進展、国土交通省によるi-Construction推進や、国土地理院による作業規程の準則の一部改正を背景とした需要増加により売上が増加いたしました。また、価格改定による単価改善効果が継続したことで、ストック型サービスも安定的に推移しました。

しかしながら、製品売上が鈍化したことや管理業務委託費の増加により前年同期比で増収減益となりました。

(ITソリューション事業)

ITソリューション事業の売上高は323百万円(前年同期比419.8%増)、営業利益は230百万円(前年同期は営業損失15百万円)となりました。当中間連結会計期間は、2025年7月に行われた参議院選挙の出口調査システムにかかわる売上に計上しており前年同期比で増収増益となりました。

(投資事業)

当中間連結会計期間における営業損失は、運営経費による1百万円(前年同期は営業損失1百万円)となっております。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は34,118百万円となり、前連結会計年度末より1,074百万円増加しました。主な要因は、売上債権及び投資有価証券の増加によるものであります。

負債合計は6,359百万円となり、前連結会計年度末より417百万円増加しました。主な要因は、前受金の増加によるものであります。

純資産は27,759百万円となり、前連結会計年度末より656百万円増加しました。これに伴い、自己資本比率は81.4%となっております。

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末より1,853百万円減少し19,319百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、2,602百万円(前中間連結会計期間は2,857百万円の獲得)となっております。主な要因としましては、税金等調整前中間純利益2,999百万円、減価償却費181百万円、投資有価証券評価損830百万円、売上債権の増加額434百万円、前受金の増加462百万円、法人税等の支払額1,094百万円等によるもの

であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、3,009百万円(前中間連結会計期間は636百万円の使用)となっております。主な要因としましては、定期預金の預入による支出2,000百万円、有形固定資産の取得による支出272百万円、投資有価証券の取得による支出2,201百万円、投資有価証券の償還による収入1,500百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、1,446百万円(前中間連結会計期間は1,344百万円の使用)となっております。主な要因としましては、配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月9日の決算短信で公表いたしました予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,172	19,319
受取手形	340	450
売掛金	1,145	1,469
商品及び製品	64	40
仕掛品	14	9
原材料及び貯蔵品	3	2
その他	336	335
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	23,077	21,626
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,787	1,776
土地	1,153	1,153
その他（純額）	284	257
有形固定資産合計	3,225	3,186
無形固定資産	227	191
投資その他の資産		
投資有価証券	4,698	5,096
繰延税金資産	524	534
その他	1,296	3,488
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	6,514	9,114
固定資産合計	9,967	12,492
資産合計	33,044	34,118

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	61	44
未払法人税等	1,106	1,283
前受金	2,683	3,145
賞与引当金	592	587
役員賞与引当金	3	1
その他	1,258	909
流動負債合計	5,705	5,971
固定負債		
繰延税金負債	236	387
固定負債合計	236	387
負債合計	5,942	6,359
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,631	1,631
資本剰余金	1,500	1,500
利益剰余金	23,398	23,692
自己株式	△59	△59
株主資本合計	26,470	26,764
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	632	994
その他の包括利益累計額合計	632	994
純資産合計	27,102	27,759
負債純資産合計	33,044	34,118

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	7,296	8,246
売上原価	1,528	1,544
売上総利益	5,767	6,701
販売費及び一般管理費	※1 2,620	※1 2,963
営業利益	3,147	3,738
営業外収益		
受取利息	17	54
受取配当金	29	32
受取保険金	78	-
受取手数料	4	4
その他	0	0
営業外収益合計	130	92
営業外費用		
災害損失引当金繰入額	82	-
営業外費用合計	82	-
経常利益	3,195	3,830
特別損失		
投資有価証券評価損	-	※2 830
特別損失合計	-	830
税金等調整前中間純利益	3,195	2,999
法人税、住民税及び事業税	1,066	1,282
法人税等調整額	△14	△24
法人税等合計	1,052	1,258
中間純利益	2,143	1,741
親会社株主に帰属する中間純利益	2,143	1,741

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	2,143	1,741
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△71	362
その他の包括利益合計	△71	362
中間包括利益	2,072	2,104
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,072	2,104
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	3,195	2,999
減価償却費	107	181
賞与引当金の増減額(△は減少)	△39	△5
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△59	△1
災害損失引当金繰入額	82	-
受取利息及び受取配当金	△46	△86
受取保険金	△78	-
投資有価証券評価損益(△は益)	-	830
売上債権の増減額(△は増加)	△165	△434
棚卸資産の増減額(△は増加)	32	29
前受金の増減額(△は減少)	249	462
その他	△266	△368
小計	3,012	3,606
利息及び配当金の受取額	38	90
保険金の受取額	78	-
法人税等の支払額	△271	△1,094
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,857	2,602
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	△2,000
有形固定資産の取得による支出	△342	△272
無形固定資産の取得による支出	△84	△34
投資有価証券の取得による支出	△1,249	△2,201
投資有価証券の償還による収入	1,000	1,500
その他	40	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△636	△3,009
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△1,344	△1,446
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,344	△1,446
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	876	△1,853
現金及び現金同等物の期首残高	19,834	21,172
現金及び現金同等物の中間期末残高	20,711	19,319

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
給料手当	873百万円	940百万円
賞与引当金繰入額	311	324
役員賞与引当金繰入額	1	1
退職給付費用	51	52
研究開発費	328	406

※2 投資有価証券評価損

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

投資有価証券評価損は、当社の連結子会社が保有する「投資有価証券」に区分される有価証券のうち実質価額が著しく低下したものについて、減損処理を実施したものであります。

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建築システム 事業	測量土木 システム事業	I T ソリュー ション事業	投資事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,396	3,837	62	—	7,296	—	7,296
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,396	3,837	62	—	7,296	—	7,296
セグメント利益又は損失 (△)	1,288	2,000	△15	△1	3,271	△123	3,147

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△123百万円は、グループ会社からの経営管理料等及びグループ管理にかかる費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建築システム 事業	測量土木 システム事業	I T ソリユー ション事業	投資事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,901	4,020	323	—	8,246	—	8,246
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,901	4,020	323	—	8,246	—	8,246
セグメント利益又は損失 (△)	1,528	1,937	230	△1	3,694	43	3,738

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額43百万円は、グループ会社からの経営管理料等及びグループ管理にかかる費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。